3市合同開催！

留学生向け生活オリエンテーション「ごみの捨て方」

本市の外国人人口は令和7年3月末現在、1,322人となっており、直近3年間では年間約150人から200人の間で増加している状況です。

日本での生活は、これまで留学生が生活してきた環境とは異なるため、特に生活に必要なルールを学ぶ機会を提供し、丁寧に伝える必要があります。そこで、令和4年度より市環境課と連携し、「留学生が古賀市で安心して生活できること」を目的に、生活に密着するごみの捨て方に関する「生活オリエンテーション」を実施してきました。

今回は留学生が生活している古賀市・福岡市・福津市の3市合同による実践を交えた「ごみの捨て方」オリエンテーションを実施します。

■ 背景・目的

外国で育った人にとって、日本のごみの出し方は「燃えるごみ」「燃えないごみ」「資源ごみ（ペットボトル・缶・びん）」の分別ルールが地域によって異なるなど、非常に分かりづらいものとなっています。

本市は外国籍市民をはじめ市民誰もが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを推進しており、さまざまな取組を実施しております。本事業もその一つであり、これまでの取組をより一層充実した内容で留学生をサポートする「ごみの捨て方」オリエンテーションを開催します。

■ イベントの特徴

① 地域別ブースで分かりやすく学べる

福岡市、福津市、古賀市の担当者がブースを構え、地域ごとの具体的なルールに沿った説明を実施します。自分が住んでいる地域の正しい方法をわかりやすく学ぶことができます。

② 実際にごみを分ける「分別実践体験」

留学生には電池・空き缶・空き瓶・ペットボトルなどの分別を実践することで、より深く学ぶことができます。

③ やさしい日本語で対応

やさしい日本語や絵を使って説明にも工夫を凝らします。これにより、言葉の壁を越えて理解を深められることはもちろん、交流も大いに期待できます。

■ 内容等

日時：令和7年7月2日（水） 10:00～11:30

会場：古賀市民体育館（古賀市中央2丁目13-1）

対象：日本グローバル学院の留学生 150名

協力：福岡市環境局循環型社会推進部ごみ減量推進課職員、
福津市市民共働部うみがめ課職員、古賀市環境課職員、まちづくり推進課職員

内容：ゴミ出しのルールについて

- ・ゴミ袋について
- ・ゴミの分別について
- ・分別収集などクイズを交え楽しく学びます。

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係
担当：青柳・八木 電話：092-942-1165